

日本選挙学会

2007年度第1回理事会議事録

日時：5月20日（日）8：30～9：20

場所：神戸大学 六甲台キャンパス 法学部第二学舎大会議室

出席者：田中（理事長）、相内、荒木、池田、池谷、伊藤、岩崎、岩渕、川人、川戸、河村、桑原、河野、小西、小林、杉本、谷、玉井、堤、平野、安野、山田、湯浅、游、（理事）西澤、（監事）、増山（2007年度企画委員長）、河崎、名取、今井、高安（事務局）。

議題

1. 2007年度予算案について

河崎事務局長から、2007年度予算案が提示され、これが承認された。なお予算案に対しては、赤字予算（繰越金の取り崩し）が組まれている点や、支出を切り詰めていく必要性等について指摘があった。

2. 委員会の活動状況

1) 企画委員会

増山委員長から、企画委員会のメンバーと今後のスケジュールについて報告された。

2) 年報編集委員会

河村委員長から、学術誌刊行体制により変化するものの、基本的には査読委員会を発足する方向で進めていくことが報告された。

3) 文献委員会

小西委員長から挨拶があった。

4) 選挙管理委員会

杉本委員長から、2007年度理事選挙における年少者と年長者の区分について提案がなされた。本来であれば、被選挙権が確定した時点での年齢によって区分されるものと考えられるが、選出規程では「年長者と年少者は理事会が決定する」と書かれ、覚書の経過措置によれば「当分の間固定する」とされている。そこで、これらの規程が平成19年度の選挙にも適用されると考え、年長者と年少者の区分は17年度の区分を基礎とすると説明された。すなわち前回選挙と区分を同じにし、区分の基準となる生まれ年を2年繰り下げて19年度選挙を実施するという提案であり、それに基づいて、7月1日時点の会費納入者を確定し、選挙権者と被選挙権者の区分を明確にすると説明され、それが承認された。

3. 2008 年度大会開催校について

大会運営委員長の杉本理事から、2008 年 5 月 17 日、18 日に開催予定であることが報告された。

4. 2009 年度大会開催校について

2009 年度大会の開催を同志社大学に要請し、了解を得たことが河崎事務局長から報告され、承認された。

5. 顧問設置について

継続審議になった本件について、河崎事務局長からあらためて会則および選出規程の改正案が示され、審議された。その結果、会則第 14 条 2 項および選出規程第 2 条、第 3 条の改正案については承認された。つぎに、会則第 13 条 4 項の改正案については、それに代えて第 11 条 1 項に「ただし理事長経験者を理事・監事に選任することができない」を加えることで承認された。また附則 4 に施行日付平成 19 年 5 月 20 日を加えることが承認された。そして以上の理事会における承認をもって、総会にかけることになった。

6. 新入会員について

1 名の入会が承認された。

継続審議となっていた 1 名については、要件不備のため保留とされた。

なお、その際、1998 年 5 月 16 日（土）日本選挙学会総会決議の文言の解釈について、いくつかの意見が示された。その結果、理事会として一貫性のある基準を示すことや、会則に規定を盛り込むことなどを、今後検討することになった。

7. 雑誌保管のための倉庫について

河崎事務局長から、選挙研究および選挙研究紀要の在庫保管方法について、外部委託した場合の費用、および現状の在庫数についての資料を示しながら説明が行われた。審議の結果、本件については事務局に一任することが承認された。

8. 査読委員会について

田中理事長から、今後は、査読検討委員会において透明性・一貫性を確保できるような査読委員会の設置について、事務局において年報 2 回発行の可能性についてそれぞれ検討したうえで、理事会で議論を進めていくと提案され、承認された。

なお紀要 8 号に 10 号への投稿規程が掲載されるので、紀要 10 号については現行体制のまま査読・編集作業を進めていくことも承認された。

9. その他

(1) 入退会申込者について

1名の入会が承認された。

以 上